

おくすり通信

No.9 風疹について

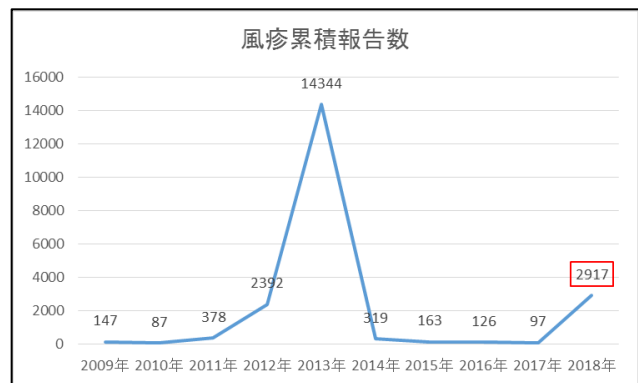
こんにちは、薬剤科です。2か月ぶりの発行です。風疹が去年の夏頃から増加傾向にあります。2019年2月1日には予防接種法の政省令が改正されました。

《風疹とは》

風疹は、風疹ウイルスによっておこる急性の発疹性感染症で、飛沫感染により感染し、かなり強い感染力があります。ウイルスの排泄期間は発疹出現の前後1週間とされており、その期間に感染力が強くなります。症状は不顕性感染（感染症状を示さない）から、重篤な合併症併発まで幅広く、特に成人で発症した場合、高熱や発疹が長く続いたり、関節痛を認めるなど、小児より重症化することがあります。また、風疹に対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの妊婦が風疹ウイルスに感染すると、先天性風疹症候群の子どもが生まれてくる可能性が高くなります。

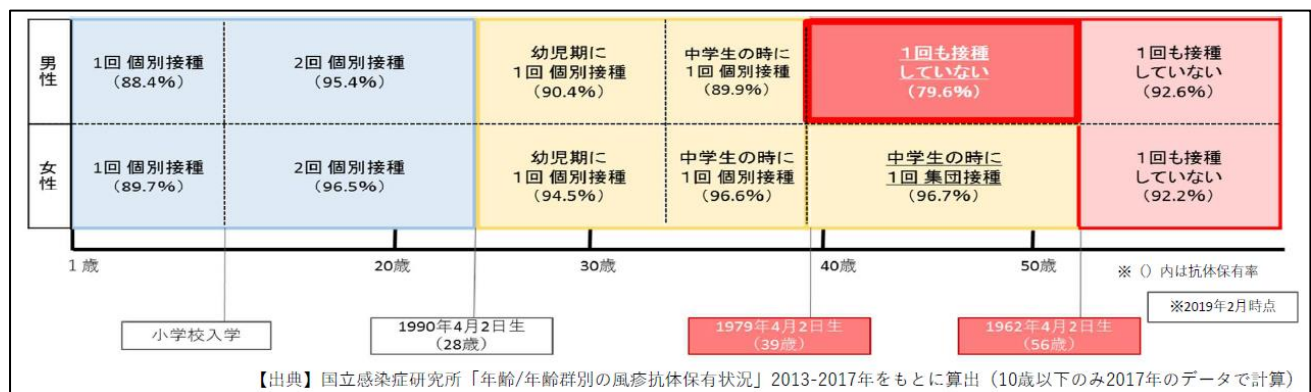
《現在の状況》

風疹は2013年にも流行し、その時の報告数は14,344人でした。その後は減少傾向にありましたが、2018年は2,917人の報告がありました。2019年の1～3週までには既に207人の患者報告があり、増加傾向が続いています。



《ワクチンで予防》

風疹の予防にはワクチンが有効ですが、予防接種制度の定期接種を受ける機会がなかった年齢層があり、今回の風疹流行の中心となっています。そのため、その方々の抗体保有率を上げる対策が現在進められています。対象者は、1962年4月2日～1979年4月1日までの間に生まれた男性で、2019年～2021年度末までの約3年間、全国で原則無料で定期接種を受けることができるようになりました。ワクチンを効率的に活用するために、抗体検査（全国原則無料）を受けて抗体結果が陰性の方が予防接種を受けることができます。



厚生労働省 風しんに対する追加的対策

そのほか、気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。